

日本のインフラ施設の維持管理技術をカンボジアに展開！ 持続する現地の水道事業を支援

- 株式会社ジオクラフト（北九州市 石原社長）は、2022年から独立行政法人国際協力機構（JICA）の中小企業 SDGs ビジネス支援事業～普及・実証・ビジネス化事業（中小企業支援型）に採択され、カンボジアにおいて「施設台帳システム導入による持続可能な水道事業の普及・実証・ビジネス化事業」を実施しています。
- カンボジアでは、内戦後の急激な人口増と経済活動の活発化に伴って都市部への人口集中が続き、水需要が拡大しています。ところが現地の水道事業体では施設の維持管理は熟練技術者の記憶に依存し、非効率であることに加え、漏水事故への対応や老朽化する施設の更新計画にも対応が困難な状況にあります。
- 本調査は、北九州市をはじめ国内で実績のある施設台帳（マッピング）システムを現地に導入し、カウンターパートと協力してカンボジア全土に普及させ、持続する水道事業を情報基盤として支援するという試みです。
- 今回、普及・実証の一環としてカウンターパートである現地の水道事業体職員7名を北九州市に招聘し、日本の事業現場におけるマッピングシステムの活用状況を紹介・説明します。

1. 本邦受入活動概要

対象：カンボジア国 公営水道事業体の技術者

目的：日本におけるマッピングシステム活用状況の紹介・説明

期間：2023年6月12日（月）～16日（金）

参加者：7名



2. 取材可能日

日時	場所	内容
6月14日（水）13:30～16:00	ジオクラフト （北九州市小倉北区大手町3-1）	システム管理者向け
6月15日（木）10:00～12:00	同上	データ管理者向け
6月16日（金）10:00～12:00	同上	同上

【本件に関するお問合せ先】

【取材申込先】 ※申込期限 6月8日（木）15:30時まで

株式会社ジオクラフト 担当：西村 Tel.093-592-1282

【JICA 事業に関する問合せ先】

JICA 九州センター企業連携課 担当：江頭（エガシラ） Tel. 093-671-8204